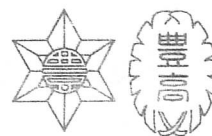


豊 剣 会 だ よ り

(表題字・中9 榎原 武雄氏)

『総会ご案内』



- ◆ 月日 平成 7 年 5 月 21 日 (日)
- ◆ 時間 午後 1 時 ~ 3 時
- ◆ 会場 豊中高校・3 階会議室
- ◆ 要領 豊剣会 総会 及び 親睦会

本年も豊剣会総会の日に合わせて実施致しますが、例年と要領が異なり、朝の在校生との親睦稽古は行わず、午後の総会及び親睦会のみを行います。従いまして受付は会場入口で行いますので、直接に3階会議室までお越し下さるようお願い致します。会費は¥3,000です。当日、お問い合わせの上、多数のご参加をお待ち申し上げております。

『会長挨拶』

中 14 回 西村 淳一

先ずもって阪神大震災被災の方々にお見舞い申し上げます。数多い剣友の事とて実状の把握が出来ず、ただ口先だけのお見舞いしか出来ないことを心苦しく存じます。誠に申し訳なく、さして我が豊剣会も昨年は設立当初より会長として豊剣会の維持発展の為、文字通り粉骨砕身の尽力を頂き、ました中務先生(中7期)が闘病の甲斐もなく平成6年5月7日に逝去されると言う誠に残念な事であり、役員全員で葬儀のお手伝いをさせて頂き、榎原武雄先輩(中9回)に葬儀委員長をお願いし、万分の一の御恩返しを致しました。

その先生の四十九日の法要でご遺族より豊剣会へと金二十万円を寄贈頂き、早速役員会を持ち「豊剣杯」を作成して末永く先生の遺徳を偲ぶよう、毎年春休みを利用して新人会員の歓迎も兼ね「豊剣杯争奪大会」を定例行事とすることに決しました。何卒、意のある所をご了承の上、今後の運営にご協力下さいますようお願い申し上げます。

これにより豊剣会の定例行事は、1月の初稽古と新年会、春3月の「豊剣杯争奪大会」、5月の総会、在校生夏期合宿の応援と、若い先輩達に働いて戴く場が多くなりましたので何卒宜しくお願い申し上げます。本年も、又新しい気分で豊剣会の発展に尽くして行

く所存でございます。倍田のご支援の程を伏してお願ひ申し上げます。ご挨拶と致します。

『追悼の会挙行と豊剣杯争奪大会』

故中務先生、故川上、井坂両師範及び物故剣友を偲ぶ追悼の会と、これを記念し今より定例行事として発足しました第1回「豊剣杯争奪大会」の諸行事が、平成7年3月26日午前9時から豊中高校柔剣道場にて開催され、左記の行事次第で盛大に執り行われました。

- 開会及び追悼の式辞
- 古武道演武(北摂古武道会)
- 兵法(二天・流剣術)ノ形
- 風伝流槍術ノ形
- 居合道及び日本刀試斬
- 関口流半棒術、杖術
- 軍刀試斬(巻巻、青竹)他
- 豊剣杯争奪大会
- 審判長注意と選手宣誓
- 各期OB及び在校生チームによる団体対抗戦
- 成績発表と表彰
- 合同稽古

● 懇親会(於・会議室)
会長挨拶にも紹介の通り、今回の行事は、中務先生の遺徳を偲び、先生が何よりもお喜びになる豊剣会の益々の発展のため、今後の会の要になる若い先輩達の活躍する行事として新設された「豊剣杯争奪大会」の記念すべき第1回大会です。晴天に恵まれた当日、朝早くから高田先生の指揮のもと在校生が会場の準備に当たってくれました。そうこうする内に、大先輩に交じり防具を担いだ若い先輩

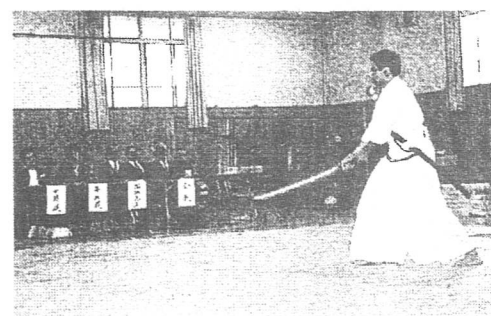
達が続々と参加、ご来賓5名、豊剣会々員43名余、それに在校生20名余を合わせ総勢約70名の盛大な大会となりました。厳粛な黙祷を捧げた故人の冥福を祈って始まった大会は、今西春禎先輩(高7)のお世話による古武道演武へと続き、北摂古武道会師範の方が気合溢れる演武で追悼の表意と共に、会場に活力を横溢させて下さいました。特に、演武後の有志者試斬体験では若い先輩や在校生が、始めて手にする白刃に戸惑いながらも果敢に挑戦し、会場には拍手と和み広がっていました。

中務、井坂両先生の遺影の前で練り広げられた豊剣杯争奪戦は、豊剣会と在校生チーム合わせて12チームが予選リーグと決勝トーナメントに熱戦を展開、声援飛び交い若さと活気溢れる雰囲気開始された合同稽古も熱気あるものとなり、午後1時前まで行われました。(試合結果は4ページに掲載)

● 懇親会(於・会議室)
午後懇親会では大先輩が、多数の若い参加者に目を細める姿も見られ、和気藹々のうちに午後3時過ぎ、大会行事は全て無事終了しました。初めてのことで戸惑いと不手際もあったとは言え、一応成功裡に今回の行事が行えた意義は大きく、来年からに期待が繋げられると思います。
井坂先生の奥様が「久しぶりに竹刀の音を聞いて元気が出て来ました」と、ふと漏らされたお言葉がとても印象的でした。(近久記)

当日記名のあった参加者は次の通り。(員敬称略)

- 〔ご来賓〕
中務マサエ様、中務公子様、井坂先生奥様、北坂美智子先生、園山哲夫先生。
〔豊剣会〕(中4)岩崎繁男(中9)榎原武雄(中10)灘上順之助、温品正雄、藤田巖男(中11)原田憲(中14)西村淳一(中15)久留島収造(中16)秋山勇(中19)谷口真澄(中21)豊田俊一(中22)宮崎喜昭、佐藤功(高7)今西春禎(高10)近久智彦(高16)大芝信雄(高18)松村栄太郎(高20)高田裕文(高34)曾古信三(高37)藤本和也、世古昭文、藤坂洗孝、奥野嗣敏、加藤隆昭(高38)友井毅(高43)石塚佳久、岡本研太郎(高44)糸水佳正、大辻晶子、鳥山優子、浜口景子、平岡巳和、守屋香苗、森 勤(高45)宮脇昌美、塩崎一弘、米井伸夫、林 正憲(高46)渡辺義久(高47)若 泰典、稽古庵総志。



『豊高剣道部 活動報告』

剣道部顧問 高田裕文

『剣道部部員の紹介』

平成6年度の剣道部員の氏名・取得段位は以下のとおりです。(すべて平成7年3月現在)

- 「二年生」14名
新開健太郎(部長・二段)、松本朋子(女子部長・初段)、梅山重人(二段)、高橋良(副部長・二段)、長瀬享(二段)、光久広志(二段)、木村麻子(二段)、永井郁子(マネージャー)、中原久美(初段)、西垣僚子(初段)、野村歩(マネージャー)、馬場也須子(初段)、原野陽子(初段)、吉田基子(初段)、「一年生」17名
東 克洋、大森久美子(一段)、岡野千佳子、尾久士寛(一段)、門脇真一(初段)、小山中也、阪本裕貴、岸本かおる(初段)、為平隆治(初段)、寺谷俊美(マネージャー)、寺西竜也(二段)、豊田真介(二段)、福岡大輔(二段)、福嶋典子、皆川真崇(初段)、矢野倫太郎(初段)、古賀緑、奥野木恵子(初段)

『平成6年度新顧問』

- 国語 重森英彦、社会 高田裕文、理科 濱野俊朗、国語 山崎一。

『剣道部の活動と現状』

平成6年度の剣道部の活動については、まず中学21期の豊田俊一氏が、府教育委員会の一環として、剣道部の指導にあたって

ただけるようになったことを報告させていただきます。

豊田氏は、豊剣会会長の西村氏とともに、以前から日頃の練習や合宿での指導にあたっていただいていたが、このたび正式に府教育委員会から委嘱されて、剣道部の指導者として来ていただくことになりました。この一年間、何かとお忙しい中、親身になってご指導いただいた成果が、後述の試合結果にも現われていると思います。

また、今年度も夏期合宿に豊田氏のほか、会長の西村氏・高校7期の今西氏・高校16期の大芝氏・その他大学生など多くのOBがご参加くださり、部員達が色々指導していただくことができました。その上、本年も合宿に際しては、豊剣会から多大なご援助を頂戴しました。

豊剣会およびOBの方々には、この紙面をお借りして、ご指導・ご援助について厚くお礼申し上げます。さて、剣道部は昨年4月に1年生が、マネージャーも含め大量19人も入部し、なぎなた部と剣道場を分けあっているため、ますます練習がしにくくなってきました。多くの部員が一生懸命練習している姿は、顧問にとってもうれしくもあり、また活気があって頼もしい限りですが、エネルギーにあふれる部員には、限られた時間と狭い練習場所のため、不満足だらうと想像します。しかし部員達は、少ない時間を密度の高い練習で補い、それなりの成果をあげてき

ました。

今回の夏の合宿は、7月21日(24日)に京都府の富津市で実施しました。特に暑かったこの夏の気候の中で、部員達は朝から夕方まで練習に励みましたが、一方例年と異なり食事は良く3日目の夕食ではパーベキユイを、そのあとは恒例の演芸会を楽しみました。苦しい面もあるが、部員相互の団結をはかるには絶好の機会であったと思います。平成6年度の部員の活動で新しい事柄をもう一つあげますと、2年生男子が、従来のように1月の北摂学校剣道大会をもって引退するのではなく、6月のいわゆるインターハイ予選まで現役として練習を続けることになりました。

従来は、2年生の1月末をもって引退する伝統が定着していました。この引退の時期は、受験勉強がらみで、早く勉強に集中したいという生徒の考えから受け継がれてきたため、顧問が強制的に指示する性格の問題ではありません。ただ、①指導の立場につくのが1年生の1月とやや早い、②指導者としての期間が短い、③1年生と3年生とのつながり希薄になるなど、顧問としては、3年生の6月ぐらいいまで練習・指導をしてもよいのではないかと、いう考えもありました。女子は従来どおり1月の引退でしたが、将来できるだけ多くの部員が、せめて3年の間は続ける足がかりになればと考えております。

諸先輩に道場を覗いていただく際のご参考に、日常の練習時間を以下にあげておきます。平日が午後3時50分頃から5時15分まで、土曜日は午後1時頃から3時までの日(前半)と、3時から5時までの日(後半)があります。考査1週間前からは練習がありません。

『男女とも各試合で好成績』

一昨年・昨年と、北摂学校剣道大会で女子が3位入賞を果たしてきましたが、本年度は男子の力もさらにアップし、以下のような成績をおさめました。

11月大阪高等学校剣道新人大会で男女とも3日のブロック大会を勝ち抜き、23日の中央大会に進出しました。1995年1月の北摂学校剣道大会で女子が3位に入賞しました。これで女子は3位を3年連続確保したことになりました。

3月下旬の大阪大学剣道部の招待試合で、男子が3位となり、かつ部員の光久君が優秀選手として表彰されました。

『平成7年度夏期合宿』

実施日程/7月25日(火) 28日(金)

場所/兵庫県淡河スポーツセンター(神戸市北区淡河朝淡河字長松寺386)

全館7室を借り切っています。人数に限りはありませんが、諸先輩の積極的な参加をお願いします。(学生は豊剣会で全額負担していただくそうです。)参加の申込みは、7月上旬までに、顧問の高田まで(電

話でけっこうですのでお願いいたします。

『この一年間を振り返って』

部長 新開健太郎

僕はこの1年間、剣道部においてさまざまなことを学びました。

まず夏期合宿では、西村さん・豊田さん・大芝さんをはじめ多くの先輩方に来ていただき、諸先輩の稽古とさまざまなアドヴァイスによって、部員一同充実した合宿を送ることが出来ました。また、豊田先輩は講師として毎週部員の練習を指導していただき、さらに西村先輩・大芝先輩・加藤先輩など多くのOBにも学校の剣道場で稽古をつけていただきました。

このように、私たち剣道部員が、多くのOBに支えられていることを本当に感謝しています。

私たち剣道部員は、毎日の練習の中でお互いが助け合っていくうちに、友情が深まってゆきその中から何より大切な団結力が生まれてきました。この団結が私たちに充実したクラブ生活を私たちにたらしたのだと思います。

私たちは、豊高剣道部の活動を通じて、剣道の技術的な面・精神的な面だけでなく、目に見えない何か大きな大切なものを学ぶことが出来たと思います。僕は将来、ここで学んださまざまなことを生かしてゆくようにしたいと思います。

『夏期合宿参加記』

平成6年の夏期合宿は2年男子5名・女子9名、1年男子11名・女子8名の計33名に3年男子4名が参加して合計37名の多人数となった。これに西村(中14回)、先輩と豊田講師(中21回)、今西(高7期)、先輩、高田先生(高20期)、山崎先生の両顧問が付添いとして出張され、他に大金先輩(高16期)が横浜から駆けつけてくれ、高校43期の石塚佳久、岡本研太郎、高見尚徳先輩、高松44期森勤先輩の4名が参加してくれました。上に、既に引退している3年生の若奉典君、稽古庵総志君、吉田淳一君、野田義晴君の4名と若君の父親、若先生の参加があり総勢47名と過去私が参加経験した合宿では最高人数となりこれだけの人員、だ和使用する体育館が狭くなり、寸沓沢な文句も言いたくなる程でした。

今回の合宿では今までやりたくも参加して呉れる先輩の人員が少なくて出来なかつた2年生を対象とした「立ち切り稽古」が実施出来ました。2年生を元立ちとして3年生と大学生に若先生と1年生の尾久土君とを加え30日間連続して稽古を行い、2年生諸君は良い思い出と良い経験を持つたものと思います。

来年も再来年も今回程多数の先輩方の参加をお願いしたいものです。

何時もの事ながら参加戴いた先生方先輩達に心から厚く御礼申し上げます。西村記

『故中務先生を偲ぶ』



我々豊剣会の元会長であり豊剣会の生みの親である中務先生(中学7回生)がご逝去になったのは平成6年5月7日のことであつた。多数の先輩の中で京都の武道専門学校を卒業され、剣道の先生として永年剣道界発展のために尽力された唯一の先輩であります。先生は最近体調を崩され入院退院を繰り返しておられたので万一心配していただいたのが事実となつてしまつた事は、かえすがえすも残念なことでありませう。

ここに先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、先生生前中の思い出を記したいと思います。故中務先生が好んで口にされた数々の教えの中で特に印象に残つてゐるものの中に「和」があります。先生は剣道の奥義は心なり「心を以て打て」と言われ、又兵法の虎の巻に「来レバ則チ迎へ、去レバ則チ送り、対スレバ則チ和ス、五ノ十、一ノ八ノ十、一ノ九ノ十、是ヲ以テ和スベシ、虚日ヲ察シ、蔭伏ヲ識リ、大ハ方処ヲ絶チ、細ハ微塵ニ入ル、活殺機ニ在リ、変化時ニ心ス、時ニ臨ンテ心ヲ動スルコト莫レ」相和して勝つと教へてゐる。「母校の剣道の歴史は和を以て貫かれ、師弟愛の真髓だ」と看破された。京都の武専を優等で卒業

された当時、三羽鳥の一人であつた中務先生は「達人」の称号を授与された剣聖の一人である。50才代から体調を悪くされ用心の為、無理な稽古を避けられておられたが、既に当時より達人の域に達しておられたものと思われ。この「和」の精神を悟ることは、とても出来ない処であるが、時に感じて思い出し人生訓にしたものであります。私と中務先輩との出会いは、私が豊中の3年生の夏休み稽古中のことでありました。名物豊中中学剣道部の猛稽古、掛かり稽古十三本、目の前が真つ暗になる程、待てば突かれ、打てば体当たりでぶつ飛ばされ、足払いで倒されて押しつけられ兜ひねり。毎日が文字通り血の出るような稽古で師範上級生だけでも大変な中に、胴の真ん中に「中務」と大書した道具を着けた人が来校され稽古を付けて貰つた、それが中務先輩だったので。無我夢中で掛かつて行く後輩達を軽くあしらかに掛かつて行つた私はビュッツと音のする程のすごい先輩の面打ちを、自分では確かに受けた積もりが受けた竹刀もろともバシッと面を打たれ頭がビーンと鳴つた事実、当時の師範川上先生から「武専の中務先輩だ」と紹介され、「物凄、強い、怖い先輩」の印象が残つたものでした。その後先輩も私も忌まわ

しい戦争に巻き込まれ軍隊生活等で永い間、お日に掛からなかつたが、終戦後谷口貞彦氏(中19回生)の勧めにより、まがりなり竹刀を握るようになって懐かしい中務先生と再会するこゝとなり、その後はずつと師と仰ぐ先輩として豊剣会ばかりでなく至る所で約40年間の長きに亘るご指導を頂いたものであります。それも剣道上の事のみでなく、人生のあらゆる場面でのご指導でありました。ある時は職場でゆきずまりノイローゼ気味になつた時、先生は私に、「君の職場の事は判らないが、剣道でも、行き詰まる」と基本に帰れ、と言われてゐるヨ」と教えて頂き、うまく難関を切り抜けた事があつた。あんな事もこんな事もあつたと今つくづくと先生の教えを思い出して生前の先生の面影を偲んでいます。先生にお教え頂いた数々の教えの中で「守破離」と「和の精神」を座右の銘として今後も頑張つて行きたいと思つてゐます。誰よりも強く、誰よりも正しく、誰よりも優しく豊剣会運営に全力を捧げられた中務先生のご逝去は誠に悲しく寂しい現実ではありませうが、先生が残して下さつた数々のご功績とご教訓は會員の誰かの心の中に永遠に生きてゐるものと確信致しております。心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

中14回 西村 淳一

『短信』

中3回 島岡賢二 外出するのが大儀になつてきています。皆様に宜敷くお伝え下さい。人生八十有五、長いですね。中9回 榎原武雄 弓道部もフットボールもあつたがOBはどうしてる! 見よ、我等が剣道部、これ偏に故中務先生はじめ、貴兄等のご尽力の賜。頑張れ豊剣会。中9回 鈴木 勇 日々、一年有余に亘る病院生活のため欠席します。中9回 牧野龍夫 諸兄によろしく。中10回 温品正雄 中務先輩逝く。可愛がつてくれた先輩、今や亡し。一億の屍を越えて進め、前進前進、又、前進、共に進もう、昔の顔馴染みと共に、あれから60年の歳月が流れた。友よ、生きておれよ。中11回 原田 憲 追悼記念豊剣会争奪大会が盛大に挙行されますにあたり、中務前会長はじめ物故師範剣友の皆様が安らかなるご冥福を心からお祈り致します。中14回 岩崎繁男 豊剣会の諸行事に付き幹事諸氏にはご多忙の中、御世話に相成り感謝申し上げます。扱て、7年度の定例新年会の御案内の段、小生目下体調を崩して居り出席不可能にて、不可悪。會員諸氏によりしく御伝の程願ひ申し上げます。中14回 河村洋二郎 いつもお世話ありがとうございます。

ざいます。当日先約の新年会と重なり欠席します。中14回 米谷 孝 平素御無沙汰しております。御目米総本社の会長として頑張っております。豊剣会のみならずの御発展を切望しております。中15回 上田泰章 高校生が係に思へる輪になりました。今年8月で72才を迎へる事になります。腰を痛めて以来稽古はしていませんが、意気だけは盛んで常に前向きに日常の診療に励んでいます。そろそろ世代交替で息子に譲らねばとは思いますが、ほけない為にももう少し頑張ります。中15回 大久保勉男 豊剣会だより有難うございます。懐しい方々のお名前を拝見し感無量です。お蔭様で私も未だ現役でサラリーマン生活を続けております。西村会長の活躍に嬉しく思います。何卒皆様によりしくお伝え下さい。中15回 杉浦嘉人 ご案内を頂きながら出席できず、恐縮に存じます。当日は会社の行事に参加しなればなりませんので失礼いたします。皆様に宜敷くお伝え下さい。中16回 弘末正彦 申しわけありませんが、暫くお許し下さい。皆様に失礼ばかりして心苦しく思つてゐます。中16回 丸尾栄一 豊剣会の益々の発展と各位のご多幸をお祈りします。まだサラリーマン生活を続けていますが、今のところ無病息災であります。豊剣会万歳!

中19回 谷口眞澄 御案内他、手数をお掛け致します。喜んで参加させて頂きます。中21回 豊田俊一 都合により残念ですが出席できません。ご盛會を祈ります。中21回 西野昭三郎 いつもお世話になり有難うございます。楽しみにしていましたが、いつもの通りボイスカウトの先約があり失礼致します。中務先輩の訃報知らぬ事とて失礼致しました。慎んでご冥福を祈ります。原田先生ともボイスカウトでお会いし、正月には伺いますと申し乍ら残念です。よろしくお伝え下さい。末筆乍らよいお年をお迎え下さい。中22回 宮崎嘉昭 去る10月9日、中務先生の追悼剣道大会打合せ会の帰途、今西さんより翌10日(体育の日)に恒例で行つてゐる古武道試演の案内を受け10人程の激しい演武を拝見し感激しました。3月の大会を期待しています。高13期 大芝利文 三木市に転居して2年、ホテルに転職して6年が経ちました。世の中を見る眼は変わりましたが、心の郷里・豊中は変わりません。剣道部と豊剣会の益々の発展を祈ります。高16期 大芝信雄 H6・5・1付で東京転勤となり、北陸支店での単身赴任は2年1ヶ月と短いものでしたが快適で又、いい経験となりました。新任先(川鉄商事(株)厚板部)勤務中、3578-5341 (次頁に短信続く)

